

談話室

投稿をお待ちしています。この「市民談話室」は、市民の皆さんの意見交換の場です。テーマは自由です。あなたがふだん思っていることを書き添えて気軽にお寄せください。紙面の都合上、文を短くすることがあります。あて先は、〒950-112 白根市大字白根二二三五 白根市役所企画財政課広報広聴係です。



成人病予防週間 (2月1日-7日)



成人病が多い本市 栄養教室で健康の重大さ知る

伊藤ヨセさん (浦梨・農業・39歳)

私は現在、保健センターで開かれていた栄養教室に参加しています。この教室では「栄養・運動・休養」などについて、月一回、一年間(計十回)講話や実技を通して学習します。「健康」という言葉はふだん使っている言葉ですが、あらためて「健康とは？」と問われると、たいへん答えにくいものです。教室に参加して、健康の重大さを知ることができました。



世はまさに飽食の時代 見直す必要があるのでは?

泉 博さん (万年・農業・73歳)

正月も既に過ぎましたが、昔、正月は三月倒しと言いました。これは毎日ごちそうをいただくからで、また、それを楽しみに待ったものです。世はまさに飽食の時代で、いつでもどこでもごちそうは食べられます。戦前の食生活を思う



能登出身の偉人

石山、加藤両氏に感銘 皆川 哲さん (能登五・72歳)

能登の偉い人物を紹介します。まず、須藤時俊翁。石碑が昔、白根小学校の敷地にあり、当時は先生から「偉い人なんだ」と聞かされたものです。白根町長時代は、現在の消防署の隣に住んでいました。石碑は現在、五六ノ町の西永寺に移されています。軍人では、日露戦争当時陸軍大尉の若林若次郎は米國大使館付武官だったそうです。若林昭さん(能登五)の祖父です。



須藤時俊氏 石山賢吉氏 加藤清二郎氏

家の前で起こった交通事故

違法駐車ゼロのまちに



斎藤悦成さん (市役所上町・教員・51歳)

夕食時、表の方でドスンという音がしました。出てみると乗用車が一台、路側帯の縁石を乗り越え、柵を突き破っていました。運転していた人が赤ちゃんと人をとられ、路上に止めてあった車に気づくのが遅れてぶつかったのだそうです。幸い人身事故には至りませんが、このほかにワゴン車



嫌われない老人になりたい テレビに学ぶ

半間伊作さん (西笠巻新田・74歳)

私と老妻は、日曜日の朝八時のNHK教育テレビ「こころの時代」ほか、修養的な番組を見るように努めています。ある日、味方村出身の平沢興先生がこんなことを言われました。私八十六歳の今日まで健康

グループ紹介⑦

白根ジョギングクラブ



1月2日に「弥彦初もうでマラソン」を実施

このクラブは、白根地区公民館が毎年夏に行う「歩け歩け運動」の参加者有志が、健康と体力づくりを目標に5年前に結成しました。現在、小学生から70歳代まで、女性10人を含む30人ほどの人たちが加入。ノータイム、ノー記録、ノー肩書きをモットーに、毎週日曜日の早朝、公民館前に集合し、中ノ口川堤防3・4・5キロコースをマイペースで走っています。吉川彰会長は「走るが好き」な連中だから、ハッスルして各地の駅伝大会に参加するなど、エスカレートぎみなのがちょっと心配です。クラブとしては、あくまでも健康ジョギングの原点を守っていきたい」と話しています。恒例となった「弥彦初もうでマラソン」も、今年で4回目を迎えました。今回はクラブ外からの参加者も含め、25人が参加。弥彦神社から白根までの25キロを20人ほどが完走しました。そのほか、春に登山、秋にハイキングなど、家族ぐるみのコミュニケーションを行っています。入会したい人は吉川会長(白新町・☎372-3222)へ連絡してください。

会員の声



広田竹雄さん (みの口・整備士) ジョギングは10年くらい前から始めました。汗を流して走り終えた後は壮快な気分です。風邪もひかなくなり、体調をくずしても回復が早いですね。柔道をやっている長男(剛吉=白根小5年)もクラブに誘い、昨年からいっしょに走っていますが、基礎体力をつけるのにちょうどよいと思います。

市民文芸

俳句

雪もなく八十八の初詣で 大旗 豊治
淡雪の真白き天使見え隠れ 渡辺 勤
川柳
嫁の愚痴バス停の椅子が聞いている 野内熊太郎
椅子取りのゲームが縁となった妻 早川 英男
おみくじを幾度も引いて見る社運 山岡 フミ
愛嬌を捨てた道化の抜けた顔 吉川 彰
愛嬌をふり撒く候補の二枚舌 吉川 末吉
洗濯の山が待つてる旅唄り 米野 光雄
温泉に浸かり無欲の日を過ごす 渡辺 ミヨ
偶に抜く宝刀だから良く切れる 今井 七郎
編み込んだ兎親子の愛つなぐ 今井 タエ
大吉が買う気にさせた宝クジ 岡村 清
若い気の姑は優先席を無視 織田 セツ
星影のワルツ崩れてきた破局 後藤マサノ

三味の音に乗って民謡唄う父 佐藤トミノ
税金の追いついたら泣く兎小屋 佐藤 ヨキ
盛り越す兎が買った餅搗機 高橋祐四雄
物云わぬ椅子も劣る人が好き 竹石 甚五
背負われた児も唄ってる子守唄 田中 成子
無学でもキャリア買われた椅子がある 田村 恒夫
夢のない話へ雪が降り積る 長井 徳市
専業主婦の餅初春から高くなる 中村 尚治
辛口のコラム煮し均等法 西条 ムラ

短歌
暖冬は寒に入る日も雪はなし 中村 京
梅ほころぶるニューズ流るる